

# 会社は、労働者に責任転嫁するな!

## 混乱は「従業員の不慣れが原因」



ゆうパックの遅配問題で、記者会見する郵便事業会社の鍋倉真一社長（4日午後、日本郵政本社にて）

## 「大混乱が必至だ、7/1強行するな」と、現場の労働者が言っていたのに現場のせいにするとは何事だ!

これは郵政民営化が破産した現実だ!

7月1日、郵便事業会社は宅配便事業の統合を強行しました。しかし、統合初日から完全に破産して、職場には荷物がぼう大に積まれ、大混乱し、配達がとどこおりに、とんでもない破綻をさらけ出しています。

### 一時はトラック50台が滞留!

新東京郵便局では、到着の作業をマニュアルを見ながら行うような状態で、1台の伝送便を処理するのに通常の倍以上の時間がかかり、そのためホームにトラックが入りきれず、局前の明治通りに数珠つなぎに並び、一時は50台以上が滞留する事態が発生しました。「ブツ量の増加に比べて、作業する労働者が少ないので、当面はこの状態が続く」と職場の労働者は言っています。

集中局の新東京や東京多摩局がこのような状態の一方で、一般局も大混乱が続きました。

### 「翌朝」も到着してない!

銀座局では、新東京での業務がパンクしたために、1日朝からブツが定時に到着せず、「翌朝」も来ていない状況でした。

朝、ゆうパックを受け取りに地下1階のゆうパックセンターに行くと、ブツは意外と少ない。ところが、パレットに置かれてあるゆうパックを整理し始めると、宛先や担当別が入り乱れて置かれてあり、再整理し始

めるが時間がどんどん過ぎていく。いつもは、深夜勤の労働者が整理しておくのだが、配達区分けを細かくしたために整理しきれずに終わったようである。当局は、早朝6時から9時のゆうパックの整理作業を行うアルバイトを時給900円で募集したが、誰も集まらない。そのためか、引き継ぎもない状態での作業が強制されました。

午後になると、臨時便も増発されて到着ブツも膨大に増えて、「応援」に来たはずの管理職はどう区分したらよいか分からずに、手をこまねいて茫然としている状態。やっとの事で午前配達指定のゆうパックを、夕方にかけていくと「なんで7時間も遅れるんだ」と配達先から怒鳴られる。

これと同じことは、全国の職場で起こっています。民営化の中で現場はこれまでもパンク状態でした。その上に大量のお中元小包に加え、選挙郵便の取り扱いとあらゆる負担が現場労働者にのしかかり、大混乱が今も続いています。

何が「現場の不慣れが原因」だ! 最初から分かっていた事じゃないか!

大規模な配達遅れに追いつめられた郵便事業会社の鍋倉社長は、4日に記者会見し、配達が遅れた荷物は1日から4日までに約26万個のば



新東京郵便局から次々と出発するトラック

ることを明らかにしました。

その中で鍋倉社長は「遅れは一過性の問題」「混乱は従業員の不慣れが原因」「統合の時期の判断について、最善の時期と判断したことは間違っていない。準備不足はあったかもしれないが、当面、拠点や人員配置などの大掛かりな見直しも考えていない」と発言しました。

ふざけるな! 混乱の責任を現場のせいにするとは何事だ! 大混乱が起こる事は分かっていたことじゃないか。現場は、「大混乱が必至。7・1に強行するな」と以前から言っていたのだ。

一切の責任は、会社・当局にあります。破綻が必至であるにもかかわらず、7・1に強行する。そして、その結果おこった混乱の責任は、現場に押しつけるーこれが郵政民営化の現実です。

全国労組交流センター  
全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5階  
Tel 03(3845)7461 Fax 03(3845)7463  
URL: <http://www.k-center.org> E-mail [centergo@nifty.com](mailto:centergo@nifty.com)

2010年  
7月7日  
発行

